

【保健体育科の目標】		
(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。		
(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて敷こう判断するとともに、他者に伝える力を養う。		
(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。		

学習内容(予定時間数)

一学期（36）	二学期（39）	三学期（30）
【4月～5月】 ・体づくり運動（7）	【9月～10月】 ・陸上競技（6） ・球技（4）（ネット型） ・保健分野（2）	【1月】 ・球技（6）（ベースボール型） ・保健分野（2）
【5月～6月】 ・陸上競技（9） ・球技（6） ・水泳（3） ・保健分野（3）	【10月～11月】 ・球技（2）（ネット型） ・保健分野（3） ・武道（6）	【2月】 ・陸上競技（6） ・ダンス（6）
【6月～7月】 ・水泳（6） ・保健分野（2） 1学期は ※実技テスト、学習カード、ワークシート 授業観察、定期テストで評価	【12月】 ・器械運動（6） ・球技（7）（ゴール型） ・保健分野（3） 2学期は ※実技テスト、学習カード、ワークシート 授業観察、定期テストで評価	【3月】 ・球技（7）（ゴール型） ・体育理論（3） 3学期は ※実技テスト、学習カード、ワークシート 授業観察、定期テストで評価

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価の規準のポイント、アドバイス
I	＜知識及び技能＞ 各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・基本的技能の習得 ・発展的技能の習得 ・記録の計測 ・習得した技の発表 →実技テスト ・各種目の特性と歴史、ルール、技の名称などの理解 →定期テスト ・授業観察 など	・基礎・基本的な技能は反復練習し、確実に身につけられるように取り組む。 ・発展的な技能は仲間と協力しながら身に付け、計測・発表・試合に生かすことができること。 ・仲間との教え合い、教師への質問を積極的にすること。 ・各種目の特性や歴史を理解することで、その種目の楽しさを深く味わうことができる。 ・各種目のルール、名称、用具の使い方、体力の高め方を理解しているかどうかを、計測・発表・ゲームなどの活動を通して確認する。
II	＜思考力・判断力・表現力等＞ 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・定期テスト ・学習カードの内容 ・ワークシート・ノートの内容 ・試合 ・授業観察 など	・学習カードは自己の課題解決のために積極的に活用する。 ・自己の課題を解決するために必要な練習方法を考え、アドバイスをするとともに実践する。 ・体調に応じて、現在の自分ができていることを考え、判断をして活動を進める。 ・自己の現在及び将来の生活を健康に送るために何をすべきかを考え、学習した内容を踏まえ、課題解決を目指して自分なりの考えや意見をもち、他者に伝えられている。
III	＜主体的に学習に取り組む態度＞ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 ・授業への取り組み、提出物の状況などの平常点 など	・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 ・提出物の期限を守り、忘れ物をしないよう心掛ける。 ・自分なりの自習方法を見つけ、取り組もうとする。